



新たな利益基準と製品のコスト基準

令和6年1月30日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

高い利益率は、生産性と効率性、コストと製品基準における大量販売とともに、その利益率が現状より遥かに高く提示できるのである。

これら世界基準における利益率は、その数量と価格の適正化を経て、企業構築の健全化を実現できるのである。

これらは時代先端性におけるインダストリー4.0やソサエティ5.0という自己基準において、時代要求をクリアできるのである。

自己製品が、世界の先端基準やトップ基準をクリアすることは、自己開発や生産におけるこれら製品基準における整備を行うことで可能なのである。

これらは時代性とグローバル市場における現実における絶帝的な自己の安定性と先進性において、企業の創造性と独自性は未来という新しい創造を得、未来に対する責任という新しい現実への参加を与えられるのである。

これらは自己努力という基盤における世界におけるトップトレンドへの参加を可能とするのである。

これは勤労性や努力が飛躍し、未来という無限の可能性を自己に与えることなのである。

これら創造性という新しい企業の現実は、企業のソフト資産が、未来へ飛躍することにおいて可能なのである。

これらは過去という現実における努力が未来を得ることなのである。これらは自己の倫理的な向上が可能性を有し、ビジネスという新たな可能性の創造を実現することなのである。